

令和2年5月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和2年5月27日(水) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室

出席者	教育長	伊藤博章
	教育委員	武輪節子
	教育委員	大庭文武
	教育委員	築瀬眞知雄
	教育委員	油川育子

事務局出席職員	教育部長	石亀純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本淳一
	教育部次長	中村雅臣
	学校教育課長	大館秀光
	教育指導課長	南館義孝
	社会教育課長	館合裕之
	是川縄文館副館長	松橋広美
	総合教育センター所長	竹花和人
	こども支援センター所長	大坂吉弘
	図書館長	田茂隆一
	博物館長	小保内裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年5月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、大庭委員を指定します。

主な会議・行事等

(伊藤教育長)

はじめに、主な会議・行事等については、配布した資料のとおりとなりますので、後ほどご覧ください。

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第20号「八戸市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第20号 八戸市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について

(南館教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第20号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第20号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第21号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

議案第21号 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員の委嘱について

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第21号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第21号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 22 号「八戸市史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

議案第 22 号 八戸市史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会委員の委嘱について

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第 22 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第 22 号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに、「物件破損事故報告及び損害賠償額の決定について」は、事務局からの報告をお願いします。

【物件破損事故報告及び損害賠償額の決定について】

(小保内 博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(築瀬委員)

今日の配布資料の中で、マイブック推進事業の「本はともだち」というおすすめブックリストが渡っており、興味深く見ていました。また、広報はちのへ6月号には「今年も小学生にマイブッククーポンを配布します!」というお知らせも掲載されておりましたので、簡単に二つほど質問と感想をお話したいと思います。

一つ目は、広報はちのへに「各小学校を通して5月下旬にマイブッククーポンとブックリストを配布す

る」との内容が掲載されておりました。そして、本日そのブックリストが配布されていまして、本当にありがとうございました。今年度のブックリストの特徴などといった部分はあるのでしょうか。

(南館教育指導課長)

築瀬委員の質問にお答えします。おすすめブックリストの特徴ということですが、マイブック推進事業は今年で7年目となり、お手元にあるこのおすすめブックリストについては、平成29年度から始めて、今年で4年目となり、昨年度に引き続き、三菱製紙八戸工場さんから用紙を提供していただきました。中身につきましては、八戸ブックセンターの森様、それから八戸工業高等専門学校の戸田山様からも協力をいただきながら作成し、大変読みやすいブックリストに仕上がったのではと感じております。

ブックリスト作成にあたり、大きく三つの点を工夫しております。一つ目は、表紙の上の部分をご覧ください。「タコ」と「ワニ」のイラストがありますが、こちらは読みたい本や読み終わった本がブックリストにあった場合に、色を塗ることができるように、それぞれの本のページに掲載しております。ブックリストを読むだけでなく、子どもが積極的にこのブックリストに関われるよう改善しており、前回、築瀬委員からもご意見がありましたけれども、子どもたちが主体的に関わることができるよう工夫しています。

二つ目ですが、今年度は子どもの興味や感情を高めるために、本の紹介をする際は、表紙だけでなく、本の内容も掲載いたしました。

三つ目は本の選書についてです。今回は低学年向けの本を多く掲載しております。高学年になると自分で読みたい本が明確になっている場合もあり、幅広く興味を持つ段階である低学年をターゲットにした本を充実させております。また、クーポンを最後の1枚まで使いきっていただくために、クーポン1枚500円分で買える本を紹介しております。

(築瀬委員)

ありがとうございました。先月はポスター等の工夫点をお聞きしましたが、子どもたちが主体的に関われるような内容であり、さらには教育活動とも結びつけられているという点で関心したのですが、今回も新たな工夫があって、とてもいいなと思っていました。また、事務局では関係機関との連携についても努力されており、ブックセンターや図書館、高等専門学校、大学、書店との連携も進んできていますので、とても頼もしく感じるとともに、期待して聞いていました。また、ブックリストの一番裏に、よく国語の教科書で見る「スイミー」が紹介されており、大変懐かしく感じます。しかし、これは英語でも読むことができるとのことで、とてもいいなと思って見ていました。ただ、全体的に絵本は高いので、2,000円分のクーポンで1冊しか買えない本も多くあります。おつりは出ませんので、幾らか足してもう1冊買ってもらえれば、書店のためにもいいのかなと思っていました。事務局からは、低学年の読書のきっかけ作りといった部分も考えているとのことでしたので、保護者や学校にもその狙いが伝わるよう説明すれば、購入意欲とか読書欲へと繋がるのかなと思っていました。

最後に一つ質問ですが、使用期間については、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で決定するようですが、今時点で考えていることはあるのでしょうか。

(南館教育指導課長)

クーポンの使用期限については、例年6月からにしておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症

の状況を考慮し、使用期間を7月20日の月曜日から11月30日の月曜日までといたしました。クーポンの使用を7月20日とした理由は、半数近くの児童が、クーポン使用がスタートした直近の土曜日、日曜日に書店で使用するというデータがあります。夏休みに入る前に配布し、長い休みにゆっくとクーポンを使用してもらうことで、少しでも書店の密集を緩和し、感染症の拡大を防ぐ狙いがあります。使用期間は例年より少し長い約4か月間となっております。

(築瀬委員)

ありがとうございました。様々な配慮をしながら、子どもたちが有効に使えるように考えられており、大変ありがたいなと思っています。今後も各書店との連携を大切にして進めていっていただきたいと思います。

八戸市は「本のまち八戸」を推進していますけれども、現在の不安定な社会情勢の中では、本との出会いで考えを深めたり、知識を広めたり、あるいは落ち着いたり、そういうことも非常に大事なことであると思っています。マイブック推進事業だけではなく、読書の大切さを学校や保護者等に周知していくことも大事かと思っていました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか何かございませんか。

(武輪委員)

新型コロナの影響で大変な中、教育委員会として学校現場や公民館、様々な施設で配慮、対応をしていただいていることに感謝申し上げます。

「就学援助制度」についてですが、教育委員会では、今年度に限り、新型コロナの影響で失業したり、収入が減ったりした家庭を援助対象に加えるとの対応をとられたことに、とても感謝しています。また、「市奨学金」についても、現在返済中の方のうち、コロナの影響により収入が減り、返済が困難な人については、今年度分の返済を猶予するという対応をとられております。なお、今年度募集する市奨学生の採用人数枠を増やすとのことでしたが、この新型コロナの影響によって、子どもたちが進学を諦めることがないよう対応いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他ございませんか。

(大庭委員)

まずは、八戸市内の全校の休校体制が解除され、私の予想よりも早く、子どもが学校に登校できるようになったことを嬉しく思います。単に学習時間の確保だけではなく、児童生徒の生活面や精神面、あるいは健康面などを含めても、大変良かったのではないかなと思います。

今後は、教室内が密にならないように、各学校の状況に応じた取組が大切になると思います。例えば、クラスを二つの教室に分けて授業を実施するといったことです。さらには行事や年間計画の組み直し、学習進度の補充といったことで、ご苦労される面があろうかと思いますが、子どもたちが学校に登校するこ

とができ、そこで先生方との交流が図られているということが一番大事なことかと思しますので、今後も対応をよろしく願います。

これは一つ質問になりますが、今回のこのコロナ休校に関連して、現時点で不登校の児童生徒が増加しているといった状況等はあるものでしょうか。

(南館教育指導課長)

不登校の状況についてですが、現在、学校からはそのような報告は受けておりません。逆に、以前は不登校だった子どもが、この休業でエネルギーを蓄えて登校できたという報告は受けております。以上でございます。

(大庭委員)

後半の話は、私も聞いたことがあります。コロナによって不登校者は増えていないということで、ホッとしました。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他ございませんか。

(油川委員)

こども支援センターについて少しお話をさせていただきたいと思います。広報はちのへ6月号に「八戸市総合保健センターへの移転」についてのお知らせが掲載されていました。こども支援センターは6月1日より移転先で業務を行うこととなりますので、何かと大変なことがおありかと思えますけれども、幼児教育に携わる者、そして保護者の皆さんの期待は大きいと思いますので、どうぞよろしく願います。また、健康づくり推進課やこども家庭相談室の移転はこれからのようですが、今後移転することによって、さらに情報共有を図り、連携されていくことと思いますので、子どもたちのより良い成長のために、どうぞよろしく願います。

(大坂こども支援センター所長)

6月1日からの総合保健センターでの運営開始に向け、現在、今週末の引越し作業等の準備をしております。これまでも、総合保健センターに移転する関係課とも内容を詰めながら進めてまいりましたが、今般の新型コロナへの円滑な対応を図るため、結果的には、こども支援センターだけが先に移転することとなりました。まずは、総合保健センターに移転し、業務体制をしっかりと整え、引き続き子どもの支援にあたりたいと思っております。他の部署が移転してきた場合には、子どもたちのために連携していきたいと思っております。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。委員の皆さん、そのほかございませんか。

[なし]

委員の皆様からお話がありましたけれども、いつも言っているように、良い仕事をするためには、一手間惜しまないということが大切ですね。多くの事業は、初期の目的が達成すると3年程度で終了してしまいますが、マイブック推進事業については今年で7年目となります。今年度はちょっと心配していたのですが、7年目も無事にスタートしました。続いている理由は、市長公約であることも影響していますが、この定例会で委員さんから出た提案、要望を踏まえて、毎年すごく工夫をしています。このブックリストにしても、色分け、テーマ別など、今年はさらに見やすくなったと感じており、私たち大人が見ても、ちょっと見てみたくなるような作りになっています。それからいつも話題になりますが、500円クーポンだけではなく、100円クーポンという要望もあるのですが、これについては事務担当者の手間が大変煩雑になってしまいます。500円クーポンを使って、おつりが出ない部分は諦めるのではなく、親として100円、200円足して本を買うような意識になってくれば、2,000円分クーポンでより多くの本が買えるかと思います。また、今回初めて500円以下で買える「ショートショート」という本が掲載されているアイデアも大変面白いと感じますね。

そして、国語の授業で見かける「スイミー」の英語版が紹介されておりますが、まさに小学校では英語科が教科になったばかりですし、こういう本はなかなか子どもたちや保護者は見ることがないかと思います。ブックセンターの森さんや高専の戸田山先生にも参加いただいただけあって、年々質の高い、非常に中身の充実したブックリストになっていると関心いたしました。

「奨学金」についてもお話がありましたが、社会が変化してもずっと同じやり方というのは、失礼な言い方をすると事務担当としてはいかがかと思しますので、このコロナウイルスで大変な時期だからこそ、何か一工夫し、時代に合わせていく、そういう仕掛けがとても大事だと思います。

安倍総理も「日常生活の中で新しい生活様式を心掛けること」ということを言っています。京都大学の山中伸弥教授は「1年は続く可能性のある長いマラソン」であり、長丁場になるとのことを話していたことが耳に焼き付いているのですが、そういうのを考えると、私たちがこうしてマスクをしたり、手洗いをしたり、3密に注意していることは、一過性の問題でなくて、これから半年、1年、もしかしたら、今後の日常生活に定着するようにやらなければならない可能性もあると思うのです。ですので、これまでの生活や業務にそっくり戻すのではなく、新しい時代、状況に合ったスタイルを私たちは考えていく必要があると感じていました。余談になりましたが、大変短い時間の中で、大変充実した会議になりました。ありがとうございました。

閉 会

これもちまして令和2年5月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時4分開会)